

# 令和5年 千葉市議会第3回定例会



朝日ヶ丘七夕飾りの会2023

令和4年度の決算議会となる「令和5年第3回定例会」は9月6日(水)に開会いたしました。決算の内容につきましては別項で詳しくお伝えいたしますが、一般会計の決算額が、歳入5,299億8,900万円、歳出5,229億8,600万円、特別会計14会計の決算総額は、歳入3,316億1,300万円、歳出3,296億1,900万円となっております。

議会運営日程は、開会日の9月6日(水)本会議散会後から議案研究が行われ、翌7日(木)も議案研究が予定されており、11日(月)は議案質疑、終了後に常任委員会付託、翌12日(火)には5常任委員会により、今定例会に提出された決算議案以外の議案及び発議・請願について審査が行われました。

14日(木)・15日(金)は交渉会派5会派による代表質疑が行われ、終了後には決算審査特別委員会設置・付託となりました。

19日(火)は、決算議案以外の議案及び発議・請願についての常任委員長報告・討論・採決のほか、追加議案の人事案件及び議員提出の発議の審査が行われました。本会議散会後は決算審査特別委員会が開催され、20日(水)から25日(月)にかけて5分科会による令和4年度の決算関連議案及び決算議案審査が行われました。その後も27日(水)には各分科会での指摘要望事項の検討が行われたほか、

元気発信！花見川！

【主な役職】

立憲民主党千葉県支部連合会副幹事長・防災・減災対策調査特別委員会委員長・教育未来委員会委員・民生委員推薦会委員  
花見川地区保護司／花見川こうやまき自治会会長／花見川中学校評議員／花見川小学校評議員

# だんぎ和彦

かずひこ

# 市議会レポート

正副委員長・正副主査会議や理事会が行われました。

また、26日(火)からは一般質問が始まり、10月2日(月)までに33名が登壇いたしました。私も27日(水)午後開会のトップで登壇させていただきました。「働く女性のサポートについて」「自殺対策について」「公共交通利用促進につ

いて」の3項目の質問を行わせていただきました。

最終日となる10月3日(火)には、決算審査特別委員長報告・討論・採決により、令和4年度の決算関連議案及び決算議案はすべて可決・認定され、令和5年第3回定例会は閉会いたしました。

## 「一般質問」の中で

今定例会の一般質問は9月26日(火)より始まりましたが、その2日目である27日(水)午後開催のトップとして登壇いたしました。通告は「働く女性のサポートについて」「自殺対策について」「公共交通利用促進について」の3項目で、一問一答(2回目から)で行わせていただきました。

「女性のための起業支援セミナー」から「女性起業家フェスタ in CHIBA」へつなぎさらなる効果的な支援の展開へ、また、「女性活躍推進アドバイザー」においての「えるぼし認定」の取得支援や育児休業取得促進のための労務相談等についてご答弁いただきました。



女性のための起業支援セミナー会場

1. **働く女性のサポートについて**  
新規事業である「女性のための起業応援セミナー」を中心に、「女性起業家フェスタ in CHIBA」「女性活躍推進アドバイザー」を取り上げ、コロナ禍で露呈した女性の働きにくさの改善と社会全体の理解促進、女性が自立しキャリアを積み上げやりがいのある仕事を増やす等の環境整備のため、上記の事業を活かしていくべく効果と今後の取り組み等について伺い、女性目線の起業に関する基礎的な知識の習得や交流の機会創出、

2. **自殺対策について**  
「第2期千葉市自殺対策計画」の中間見直しに向けて、コロナ禍での女性の自殺増加、小中高生の自殺が過去最多となったことを踏まえ、「女性のためのつながりサポート事業」「教育相談ダイヤル24」「SNS相談@ちば」等の事業を活かした対策等について伺い、女

性特有の視点を踏まえた計画事業の追加や対策強化、若年層への支援としてSNSやインターネット利用の広がりや「子ども食堂」ほか計画事業の追加、これらの取り組みを「第2期千葉市自殺対策計画」に活かしていく旨のご答弁をいただきました。

3. **公共交通利用促進について**  
公共交通については、「環境にやさしい」「交通渋滞の緩和」等のメリットがあり、本市において「スマチバ」等の利用促進に向けた事業を行っていますが、さらに多くの方々にご利用いただくためには、利用環境の整備も必要になります。そのためのモビリティマネジメントの推進、バリアフリーマスタープランに基づく環境整備、バス停へのベンチ設置、モノレールが果たしてきた役割と今後期待する役割等について伺い、公共交通利用促進に係るリーフレットの配布や市政出前講座による周知、バリアフリー化の促進等障害者や高齢者に利用していただくための環境整備推進等のご答弁をいただきました。モノレールについては資材・工事に係る予算の抑制や維持管理費の抑制、再生可能エネルギーの導入等研究を進め、国や県などの協力を得て、鉄道やバス・タクシーとの連携によるまちづくり・拠点づくり・ネットワーク形成を強く願っている旨要望いたしました。

発行責任者 千葉市議会議員 段木和彦  
発行所 花見川区花島町43018  
TEL 043(2558)0958  
FAX 043(2886)9312  
携帯 060-23251-9989  
E-mail dangi.s@coda.ocn.ne.jp

# 決算審査特別委員会開催

冒頭にも記載いたしましたように、令和4年度決算一般会計の歳出総額は5,229億8,600万円となり、対前年比で203億1,600万円の40%増で、歳入・歳出ともに令和2年度に次ぐ2番目の規模となりました。実質収支は歳入において市税が予算に比べ増収となったこと、歳出において効率的な予算執行に努めた結果、55億6,500万円を確保いたしました。また、企業会計の病院事業・下水道事業・水道事業を除く特別会計14会計は、歳入決算額が3,316億1,300万円、歳出決算額は3,296億1,900万円となりました。

今議会、決算審査特別委員会が9月19日(火)本会議散会後に開催され、正副委員長の互選、分科会の設置・委員の選任及び正副主査の互選、理事会の設置後の休憩時に決算審査特別委員会の理事会が開催されました。理事会終了後には委員会が再開され、財政局長・病院事業管理者・建設局長・水道局長による総括説明が行われました。

提出された令和4年度の決算関連議案1件及び決算議案18件の議案第106号から議案第124号で、各分科会による審査日程は、9月20日(水)には総務分科会(財政局、総務局の所管)、保健消防分科会(保健福祉局の所管)が、21日(木)には環境経済分科会(市民局・区役所、環境局の所管)、教育未来分科会(こども未来局の所管)、都市建設分科会(都市局の所管)が、22日(金)には総務分科会(総合政策局、選挙管理委員会他行政委員会等の所管)、保健消防分科会(消防局、病院局の所管)が、25日(月)に環境経済分科会(経済農政局、農業委員会の所管)、教育未来分科会(教育委員会の所管)、都市建設分科会(建設局、水道局の所管)の順で行われました。

また、27日(水)本会議散会後には、各分科会による指摘要望事項の検討が行われ、28日(木)の正副委員長・正副主査会議、29日(金)の理事会、10月2日(月)本会議散会後に開催された決算審査特別委員会(分科会報告・意見表明・採決)を経て、最終日の3日(火)すべての令和4年度の決算関連議案及び決算議案は可決・認定されました。

今後は令和6年度の予算編成が進められますが、この決算審査を活かして参りたいと考えます。

# 決算議案以外の議案について

今定例会に提出された決算議案以外の議案は議案第89号～第105号で、補正予算議案5件、条例議案7件、一般議案5件の計17件で、このほかに発議第6号、請願第5号～第7号が提出されました。

補正予算では、「出産・子育て支援」、「がん患者支援の充実」、下水道事業として「浄化センター等包括的維持管理」及び「下水道事業光熱費高騰対策」、消防力の向上として「ちば消防共同指令センター指令システム更新」、産業支援として「企業立地促進」、教育施策として「若葉住宅地区小学校新設」及び「高等学校入試デジタル採点システム負担金」、公園施設の整備として「千葉マリンスタジアム屋根梁等塗装修繕」及び「動物科学館設備改修」、その他として「新庁舎整備」及び「介護給付準備基金積立金」等の予算が計上されました。

条例議案では、「千葉市みんなが輝くまちづくり基金条例の制定について」や「千葉市国民健康保険条例の一部改正について」等、一般議案では、千葉市立稲毛国際中等教育学校大規模改修工事及び電気設備工事に係る「工事請負契約について」や、千葉中央コミュニティセンターの事業所に係る賃貸借契約の中途解約合意による「和解について」が提出されました。

これらは5常任委員会の審査を経て、9月19日(火)に各委員長報告・討論・採決が行われ、すべての議案は可決、発議は否決、請願は3件すべてが不採択となりました。

また、同日追加議案として提出された人事案件である議案第125号～第130号は、千葉市監査委員1件、人権擁護委員5件ですべて同意、議員提出の発議第7号及び第8号は可決となりました。

# 花見川区の諸問題について

今定例会の一般質問において「公共交通利用促進について」取り上げましたが、その中で花見川団地内を含むバス停へのベンチ設置について質問及び要望いたしました。

私の居住区である花見川団地では高齢化が進み、マイカーを控えてバスを利用される方が多くなっておりますが、ベンチの無いバス停が多く、利用される高齢の方々から「高齢のためバス停までの移動後、バスが来るまでの間ひと休みしたい。何とかベンチを設置できないものか。」というご要望を何件もいただいております。これを受けて、これまでも都市局、建設局に要望を伝え検討して参りましたが、道路



ベンチ設置の要望がある花見川団地西口バス停

幅の規定等により設置できないとのことでした。今回の一般質問では、道路幅の規定以外にベンチ設置が進まない理由や課題、それに対する取り組みについて伺いました。ご答弁によると、バス事業者からベンチ設置にかかる費用負担、清掃・点検・補修等の維持管理費の負担、管理瑕疵への対応などが課題であり、ベンチ等の設備を支援する「公共交通利用促進等支援事業」について伺いました。また、整備後の清掃等維持管理の一部を地域が担うなどして、事業者の負担軽減によりベンチ等の整備促進に努めているとのことでした。

# BAY SIDE JAZZ 2023 CHIBA

ベイサイドジャズ2023千葉

今年も、9月29日(金)・30日(土)の2日間にわたり、千葉市文化センター13階アートホールにおいて「BAY SIDE JAZZ 2023 CHIBA・SPECIAL 2 DAYS CONCERT」が開催されました。

ここ何年かはコロナ禍により縮小した部分もありましたが、今後も千葉市の文化・芸術振興の取り組みとして、街に活気にぎわいを創出するためのイベントとして、「BAY SIDE JAZZ CHIBA」がさらに発展していくことを心から願うとともに、応援して参りたいと思います。



ジャズクルージング